

## 教育里親の皆さま

学ぶ喜び、生きる喜び、ありがとう!

～5月9日、奨学金授与式を開催～



ドゥアン・プラティープ財団では5月9日、2017年度の奨学金授与式を行いました。当財団の奨学金支援は、日本やタイの国々の皆さまに「教育里親」になっていただき、学ぶ機会が持てないクロントイをはじめとするスラムの子どもたちに奨学金を支給するプロジェクトです。1978年にプラティープ・ウンソンタムさんがラモン・マグサイサイ賞を受賞したのを記念してドゥアン・プラティープ財団を発足させて以来、一貫して続けており、今年で39年目を迎



ました。幼稚園児から大学生まで延べにすれば20万人を超える少年少女、青年たちが学ぶ喜びと生きる喜びをひしひしと感じながら成長し、今年も1,070人に奨学金を授与することが出来ました。



財団一階の広いロビーで催された授与式には、奨学生代表約100人が出席。まず財団の奨学金を受けながらタイ国立マヒドン大学を卒業し、今はバイオリニストを目指しているワリン先輩(25)が率いる楽団の「黄色い鳥」などお祝いの演奏曲に耳を傾けました。

次いで4点満点の成績評価で3.5以上を修得した小・中学生27人と、同じく優秀な成績を取めた高校生、専門学校生、大学生計24人に財団理事長で著



名な救急医療の専門医師であるサントイ・ハティラット財団理事長事から表彰状が贈られました。また苦学しながら親孝行に努めたり、スラムの環境改善のボランティアに尽くした生徒や学生20人にも表彰状と記念品が授与されました。

最後に奨学生を代表して挨拶に立ったプティッターさんは「私は幼稚園の園児の時から大学生として国立カセサート大学産業心理学

部を卒業するまで、18年間にわたってプラティープ財団から奨学生をいただいたおかげで勉強を続けることが出来ました。そして今、砂糖の製造会社に就職出来たので、これからはしっかり働いて、よい仕事が出来よう努力します。途中で何度もくじけそうになりましたが、

そのたびにプラティープさんや教育里親部のスタッフの方々になんて親身になって悩みを聞いていただき、励まされ続けたおかげで、ここまで歩んできました。後輩の皆さん、努力を重ねれば、願いはきっとかなうことを忘れずに、一步一步を大切に歩んでください」と励ましました。



### 【奨学金ご支援のお願い】

ドゥアン・プラティープ財団ではこれからも奨学金を贈る活動を続けてゆきたいと願っていますが、残念ながら教育里親の方々が高齢化等の理由で年々少なくなって来ております。財団では2018年8月に設立40周年を迎えるのに向けて、新たに500人の皆さま方に里親になっていただきたいとキャンペーンを始めております。一年間の奨学金の支援額は幼稚園児と小学生が12,000円、中学生は25,000円、高校生30,000円、専門学校生と大学生は35,000円です。どうぞご支援、ご紹介下さい。

